

会報浦和支部

第91号
平成30年12月1日発行
発行人
埼玉県行政書士会
浦和支部
支部長 小栗重美

平成30年10月1日現在
総会員数 281名

大好評 行政書士無料相談会

10月13日(土)、浦和駅西口のコルソ7階ホールにて、毎年10月全国一斉に実施される行政書士制度広報月間における無料相談会を開催しました。

開催に先立って、より多くの市民の皆様にお知らせするため、さいたま市の後援を得、支部ホームページへの告知掲載のほか、支部エリアの5区役所のくらし応援室および37か所の公民館・コミュニティセンター等にチラシの設置や掲示を依頼、さいたま市報にもお知らせを掲載（浦和区版、中央区版、南区版、緑区版に掲載）していただきました。

当日は、くもりで過ごしやすい気候となりました。午前9時に34名の会員がコルソに集合し、小栗重美支部長の挨拶のほか、全員で相談会場の設営や宣伝用ポスターの掲示、チラシ等配布の準備をしました。午前10時、開場と同時に数名の相談者の来場があり、相談応対がスタートしました。

相談会開催時間中も、告知・宣伝のため、手分けして浦和駅や街頭にて宣伝用チラシおよびポケットティッシュを配布しました。前回に引き続き、ユキマサ君も応援に駆けつけてくれました。会員とコルソ内を歩いて回り、大変好評でした。相談会場には続々と相談者が来場され、お昼頃には10の相談ブースが満席になりました。中には1時間以上に及ぶ相談もありましたが、相談者をお待たせすることなくスムーズにご案内することができたと思います。

今回の相談件数は、例年より多めの46件となりました。内訳は以下のとおりです。

遺言・相続	39件
戸籍関係	1件
不動産関係	1件
法人設立	1件
その他（交通事故、託児所開設等）	4件



受付風景

遺言・相続の相談が39件（85%）と最も多く、今回も、相続や遺言についてお悩みの方が多いことを実感させられる結果となりました。年代別では60歳以上が34名と7割以上を占めました。

この無料相談会を知った経緯については、さいたま市報を見ての来場が16件と最も多く、チラシを見ての来場が13件（事前配布4件、当日配布9件）と続き、ホームページを見ての来場も3件ありました。

より多くの市民の方々に身近な相談相手としての行政書士の存在を知っていただけるよう、ホームページの充実や事前広報の方法などもさらに検討し、今後もより一層広報活動に励みたいと思います。

(広報部 井川圭子)

行政書士倫理綱領の再確認を!!
誠実に業務を行い、
行政書士の使命を果たそう



無料相談会参加者

一泊研修旅行

～栃木県・福島県・茨城県をめぐる旅～

9月8日(土)～9月9日(日)の日程で一泊研修旅行を開催しました。

今回は、昨年「日本のホテル・旅館百選」の総合第1位に選ばれた福島県母畠温泉「八幡屋」を目的地として、栃木県・福島県・茨城県の3県をめぐる旅です。

荒岡克巳会長、坂東明美大宮支部長をお招きし、総勢34名が参加しました。

集合場所の浦和駅を出発し、小栗重美支部長とご来賓のご挨拶ののち、各会員が自己紹介・近況報告を行いつつ移動しました。

最初は大谷資料館へ。ここで採掘される石は「大谷石」と呼ばれ、良質な石が採れることで有名です。この大谷石、古くはなんと縄文時代や古墳時代から石棺として用いられ、江戸時代頃までは主に墓石・地蔵などに利用されていました。明治期以降は駅のホームや橋梁、旧帝国ホテルをはじめとする建築物にも用いられ、また第二次大戦中には石を切り出した後の空間が倉庫や軍需工場などにも利用されました。採掘場内の気温は一年を通して10度ほどと安定しており、当日は上着を羽織っての見学となりました。現在でも最盛期に比べるとわずかではありますが採掘は続いており、室内の装飾やコースター等に加工されています。他にも、今回見学した資料館や食料品の貯蔵庫、結婚式にも利用されているとのことです。

大谷資料館を後にして「那須 森のビール園」で昼食。ランチバイキングと限定醸造の生ビール「ピルスナー」「ヴァイツェン」「デュンケル」の3種類をいただきました。那須へ到着した頃から降り出した雨は、昼食後更に強く降ってきたため、那須フラワーワールドの見学はやむなくキャンセルとし、しばらく自由行動としました。



おいしいランチ

その後、今回の宿泊地である福島県母畠温泉「八幡屋」へ。温泉にゆっくりと浸かり、宴会へ。食べきれないほどの料理の数々に、スタッフの皆さんの細やかな気遣い、カラオケや1等「蟹缶詰め合わせ」をはじめとした豪華景品盛りだくさんの大抽選会など、時間を忘れて楽しみました。

二日目は雨もあがり、八幡屋の皆さんにお見送りいただき出発しました。茨城県をめぐり、浦和へと戻ります。

二日目最初の見学地は、日本三名瀑のひとつとして名高い「袋田の滝」。高さ120m、幅73mの大きさを誇ります。水が四段に落ちていく姿、また西行法師が「四季に一度ずつ来てみなければ本当の良さはわからない」と称えたとの逸話から「四度の滝」とも呼ばれています。ここでは前日に降った大雨が幸いして水量が多く、まさに日本三大名瀑の名に恥じない大迫力でした。



袋田の滝をバックに

続いて「竜神大吊橋」へと向かいます。1994年の完成時には「日本一の長さのつり橋」でしたが、大分県の九重“夢”大吊橋、静岡県の三島スカイウォークの完成により、現在では「歩行者専用の橋としては日本一の長さ」として知られています。橋からの最大の高さが100mあるため、希望者のみ橋を渡りましたが、橋からの眺望は絶景でした。今回は少し早かったですが、紅葉の名所でもあるとのことです。昼食は、落ち着いた雰囲気の日本家屋が印象的な「ゆばの里静香庵」で味わい深いゆば料理の数々をいただきました。

旅の締めは、那珂湊漁港前にある「那珂湊おさかな市場」でお土産をゲットし、浦和駅へと帰りました。今回は、総勢34名とたくさんの方にご参加いただきありがとうございました。

二日間を通して、移動中のバス車内、食事、見学時には、プライベートや業務の相談など、ざっくばらんな雰囲気の中、参加者同士で交流する姿が見られ、会員間の懇親や情報交換にも役立てたものと思います。来年も多くの方のご参加をお待ちしております。

(厚生部 栗原 崇)



大谷資料館にて

新会員交歓会

8月31日(金)午後6時10分よりさいたま市民会館うらわにて、平成30年度新会員・役員交歓会を開催しました。出席者は、新会員11名、役員11名及び厚生部3名の合計25名でした。

開始前に、参加者全員による記念写真撮影が行われ、その後、細谷百合江厚生部副部長の司会のもと、嶋根賢一副支部長による開会のことば、続いて小栗重美支部長より挨拶があり、自身の経験を踏まえたアドバイスとともに行政書士としての心構えと新会員に向けた期待が述べられました。すでに事務所調査で新会員の面々と話をしていることもあり、大変親近感あふれるお話でした。その後、赤坂昌雄常任相談役による新会員に向けた激励の言葉とともに乾杯の音頭で、交歓会がスタートしました。

食事をとりながらのリラックスした雰囲気の中、恒例の新会員からの自己紹介が行われました。新会員の中にはすでに実務を経験されている方や様々な経験の方がいて、とても新人とは思えないほどの落ち着いた様子でお話をいただきました。前職の紹介、行政書士になったきっかけ、今後の抱負、趣味などの、ときおりユーモアを交えた自己紹介が行われ、参加者からも盛んに拍手が沸いていました。当初は多少の緊張感があった新会員の面々でしたが、交歓会が進むにつれて、和やかな雰囲気の中、支部役員との交流を深め、そこここで活発に情報交換が行われていました。

宴もたけなわの中、支部役員による自己紹介、支部活動ならびに新会員に寄せる期待などのお話がありました。自身の開業から今日までの経験を率直に語っていただき、普段では伺えないような生々しい話題もでて、新会員の面々には、真剣に、また興味深く聞き入っている様子がうかがえました。世の中の激戦を戦ってきた先輩方からのメッセージは、新会員にとって大変貴重なアドバイスとなるとともに熱い想いが通じたのではないかと思います。そして、今年、支部役員の多くから出たキーワードは「勉強すること」でした。自分が業務ができるのは依頼人があるから。その依頼人に最大限応えるためには、業務知識は必須。仕事をすればするほど、例外的な事例にあたることになります。たくさん仕事をする先生ほど、たくさん勉強している。それが新たな依頼人の役に立つ。そうやって信用を作り上げていく



新会員とともに

のだろうと思いました。

閉会にあたり、山崎智博副支部長から新会員に寄せる期待と激励のメッセージで中締めとし、最後に本締めとして福永正子副支部長から挨拶があり、盛況の中終了となりました。(厚生部 栗原崇)

新会員紹介



市川 久

勤務しました。

私は平成29年9月に開業し皆様の仲間入りをした市川と申します。

開業以前の経歴ですが、31年間海上自衛隊に奉職し定年退職、その後は損害保険会社に約3年、海上自衛隊が保有する航空機の整備支援を受託している会社に6年間勤務しました。

空に憧れ小さいころからパイロットになりたいと思っていましたが、目が悪く断念しました。しかし、海上自衛隊では航空部隊を主体に勤務でき大変幸せだったし、練習機の体験飛行で操縦桿を握らせてもらい、宙返りからキリモミした時の心地よさが忘れられません。

行政書士になったきっかけは、社会貢献しつつ生きがいを感じられる一生の仕事に就きたいと思ったからです。

今まで受けた研修や諸先輩方の経験談を拝聴し、行政書士の業務が広範囲に渡っていることを知り、自己の得意分野を早く見出すことは勿論、自分で新たな業務分野を開拓できればと思っています。

音楽好きで、現在混声合唱団に所属して歌っていますが、支部のカラオケの達人にはとても及びません。

5年を超えて生き残れる行政書士を目指しています。

* * * *



本田 潤一郎

去年10月に登録し、今年4月に開業しました本田潤一郎です。北与野駅から徒歩5分、東京入国管理局さいたま出張所から徒歩12分の所に事務所があります。外国人入管業務専門でやりたくて受験生時代に福岡県より埼玉県に移住してきました。

行政書士を目指すきっかけは、当時社労士を目指していた私が社労士試験を受ける為には行政書士試験に合格しなくてはならない状況であったという理由でした。しかし、行政書士の業務は1件、1件単発の仕事が多く、知れば知るほど自分に向いている気がしたことが行政書士開業に方針転換する理由となりました。

私は、2002年にアメリカ系のキリスト教会に改宗し、2004年からイスラム教の国であるアフガニスタンで約4年間働きました。宗教や文化に幅広く対応

できる下地があり、外国人と共に生活・仕事した経験が外国人入管業務を選んだ理由の一つです。また、テレビ局の報道局で働いた経験を活かし、数多い先進国の中から日本を選んで来てくれた外国人の方々が日本のルールもわからないままに困窮しないように情報発信する事に力を入れています。

今後は、日本一外国人に身近な行政書士になる事を目標に1日1日頑張っていこうと思います。浦和支部の先生方、今後ともご指導宜しくお願ひ致します。

* * * *



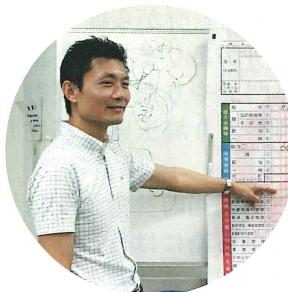
本年1月に登録しました有馬丘(たかし)と申します。前職は某住宅メーカーで約28年間にわたり技術部門の仕事に携わってきました。

以前から人生の後半は何か今迄とは全く違う仕事、それも生涯現役で出来る仕事をみつけたいと考えていたのですが、40代も終盤を迎えていたある日、田舎の父から、最近行政書士になった友人がいると電話で聞いたことが行政書士になるきっかけとなりました。

法律系の仕事というと、堅苦しくて取っ付きにくいイメージがあり、自分には無縁の世界だと思っていましたが、行政書士は人々に同じ目線で寄り添う予防法務の専門家であるということを知り、更に行政書士の業務範囲の広さに無限の可能性を感じた瞬間、「これだ!」と、無性に挑戦意欲が高まったのです。そこから資格取得に向けて勉強を開始し、2016年度の行政書士試験に合格できました。

事務所は南区根岸で、最寄り駅は武蔵浦和駅です。相続分野の業務を中心に考えていますが、それに限らず様々な業務に挑戦しながら自分の専門分野を築いていきたいと思っています。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

第1回研修会



新井山講師
度~」のテーマで第1回研修会を開催しました。

また、研修に入る前に日本政策金融公庫 浦和支店長の水谷享俊様をお招きして、本研修とも関連するソーシャルビジネスや小規模事業者への融資諸制度を含めた業務活動などをご案内頂きました。

なお、今回の研修では、申込者57名、出席者44名

と多くの会員が参加しました。

講義は、現状の足元景気の状況や現在の税制と最新の税制改正点にはじまり、必要経費の考え方や行政書士(事業主)として活用することができる小規模企業共済制度、医療費控除の仕組みでは意外にも活用できる範囲が広いという内容、さらには老後の資産形成など幅広く、聴講者にとっては目から鱗の内容であったものと推察されます。

特に、所得(もうけ)を将来に繰り延べる本気度ステップの箇所ではステップゼロから1、2と段階的に行う内容と、メリット・デメリット、老後資産形成の講義箇所などでは、スライド画面を真剣に見つめる聴講者の姿が印象的でした。

さらに、ホワイトボードに貼り付けた特大の所得税等の確定申告書を利用した実際の書き込み・解説は、とても分かり易い内容であったものと思われます。配布資料自体は11枚程度でしたが、スライド画面で随時表示される重要な情報や要点を配布資料の中に書き留めるスタイルは、聴講者側にもとても配慮された講義の進め方と内容であったものと思われます。

最後のまとめでは、今回のテーマである「知っておくべき得する諸制度」は「知らないと損する制度」である、という解説は、深く頷ける内容でした。

また、この度も急用等での欠席や途中から出席される会員から事前の連絡を頂き、研修資料や運営の準備上、大変助かりました。ありがとうございました。

今後も、企画部一同、会員皆様の業務改善に寄与できるような有意義な研修などを企画して参りますので、よろしくお願ひ致します。

(企画部 飛田 査武)



研修風景

カフェ広報部

今号では、夏から秋にかけて多くのイベントがあったため、いくつかの記事を次号に載せることになりました。ご協力頂いた皆様ありがとうございます。たくさんの原稿に埋もれながら、改めて浦和支部は企画が充実しているなと感じました。

年末に向けて、忘年会、クリスマス等イベントが多くなります。飲み過ぎず、体調に気をつけて、せめて12月だけでも悔いのないよう過ごしたいものです。

(広報部長 坪井 健司)